

## 2024年度 第7回 CPC研究会

日時 : 12月20日(金)  
会場 : 連合会館 201 会議室  
(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11)  
参加費 : 維持会員・大学官公庁関係＝無料 / 非会員＝30,000 円  
<http://cpc-society.org/>

13:30～14:55

### 「全固体電池の研究開発動向と今後の展望」

株式会社 NK エナジーフロンティア 小林 直哉 氏

- 1) 電池業界の動向
- 2) 固体電解質の開発史
- 3) 全固体電池の開発動向(硫化物系・酸化物系・ハロゲン化物系)
- 4) 半固体電池の開発動向
- 5) 今後の課題と展望

脱炭素をキーワードに化石燃料中心の社会からの脱却が求められています。電池はそれを実現するためのキー技術の一つです。昨今は全固体電池に多くの関心が寄せられており、国内外で精力的に研究開発が進められています。自動車企業をはじめとして、実用化への動きも散見されます。本講演では、全固体電池のメカニズム、現状の技術的課題、炭素材料を含む電極材料開発の現況、そして今後の見通しについてご紹介させていただきます。

15:05～16:30

### 「カーボンブラックとその動向について」

東海カーボン株式会社 新井 啓哲 氏

- 1) はじめに
- 2) カーボンブラックの製法
- 3) カーボンブラックの基本的性質
- 4) カーボンブラックの品種分類と代表的特性
- 5) カーボンブラックの最近の動向
- 6) おわりに

カーボンブラックの用途は多岐に亘り、古くは黒色顔料として近年ではその大部分がゴムの補強材として使用されております。最近では、機能性材料としてインクジェットインクの顔料やリチウム二次電池の導電助剤等に利用されております。今回は、カーボンブラックの種類とその製造方法、その基本的性質、品種分類から最近のトレンドである環境や電池関係などについてお話したいと思います。

12月20日の第7回研究会に参加します(連合会館 201 会議室)

ご所属 :

お名前 :

維持会員 非会員 大学関係

Tel :

E-mail:

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: [sec@cpc-society.org](mailto:sec@cpc-society.org) または FAX: 03-6759-3981